

環境政策係 所管事業の概要と進捗状況

1 地球温暖化対策普及啓発事業

(1) 環境教育プログラム

ア 事業概要

・地球温暖化を始めとする環境問題を暮らしとのつながりを通じて学び、個人ができる対策を一人一人が考えることで意識・行動の変革を起こすことを目的に、市内小中学校において環境に関する授業を実施する。

イ 進捗状況

・8月30日、二田小学校(6年生)において実施予定。
 ・10月5日、教育委員会が実施する「こども大学」と連携し、市内の小学校3年生～6年生の親子60人を対象に「エネルギーのまち、柏崎探求コース」を実施予定。

(2) エコ教室

ア 事業概要

・子どもたちの環境への関心を高めるため、市内保育園及び幼稚園においてエコに関する〇×ゲームを実施する。

イ 進捗状況

・6園9回延べ405人(8月16日現在)

(3) ノーマイカー&エコドライブウイーク

ア 事業概要

・普段自動車で移動するところを徒歩や公共交通を利用するノーマイカー活動と、ふんわりアクセルや“急”のつく運転をしないようにすることを心がけるエコドライブモニターの2つの活動を、市内事業者や市職員等が1週間強化的に実施することで、自動車から出る温室効果ガスの排出を削減する。(6/14～7/15の1か月間のうち任意の1週間で実施)

・11月にも同様の取組を実施予定。

イ 実施結果

ノーマイカー		エコドライブ	
団体数(者)	21	団体数(件)	11
実施人数(人)	1,974	実施人数(人)	98
C O ₂ 削減量(kg)	5,370.4	C O ₂ 削減量(kg)	225.63
燃料削減量(ℓ)	2,297.63	燃料削減量(ℓ)	97.25239062
総実施距離(km)	28,722.051	総実施距離(km)	18516.2
		平均燃費向上率(%)	11.2

(4) 緑のカーテンプロジェクト

ア 事業概要

・緑のカーテンを市がプロジェクトとして広く奨励し、市民や事業者などが育成することで、家庭や事業所の冷房使用の抑制による温室効果ガスの削減効果や、植物の育成を通じた環境意識の向上を図る。

イ 進捗状況

- ・31事業者から申込みがあった。
- ・9月11日まで実施報告を受け付け、実施報告をまとめた取組集を作成予定。

(5) 太陽光発電設備導入に向けた専門アドバイザー派遣事業

ア 事業概要

・市内事業者のカーボンニュートラル化と、その効果による産業競争力の強化を目的に、太陽光発電の自家消費を促進するため、市が包括的な委託をする専門アドバイザー(㈱エックス都市研究所)を派遣し、設備導入に向けたアドバイザリー支援を行う。

イ 進捗状況

- ・9事業者から申込みがあり、延べ11回市職員と専門アドバイザーで現地を訪問し、各事業者の状況に合わせたアドバイザリー支援を行った。
- ・好評につき受付期限を当初の7月31日から12月27日に延長し、随時訪問やオンラインにてアドバイザリー支援を行っていく。

2 ECO2プロジェクト事業

(1) ECO2通信の発行

ア 事業概要

・ECO2プロジェクト登録事業者向けに、対象行動などをお知らせする通信を発行。

イ 進捗状況

- ・3回(4、5、8月)発行した。今年度中に、さらに3回の発行を予定する。

(2) 対象行動へのECO2ポイント付与

ア 事業概要

・環境リーダー養成講座の受講や清掃活動への参加等、ECO2プロジェクトで対象となっている活動を行うことで、ECO2ポイントを付与する。

イ 対象行動への参加状況

- (ア) 青海川海岸清掃(4月20日) 8事業者48人
- (イ) 西山町美石地(ビーチ)クリーンデー(6月29日) 13事業者110人
- (ウ) 事業者独自の清掃活動 1事業者(2回) 延べ54人
- (エ) ノーマイカー&エコドライブウイーク
 - ・ノーマイカー及びノーマイカー&エコドライブに参加 20事業者
 - ・エコドライブのみに参加 2事業者

- ・ノーマイカーを実施 155人
- ・エコドライブを実施 93人
- (オ) 緑のカーテン 24事業者 (8月16日時点)
- (カ) エコ検定取得 1事業者1人

3 低炭素型設備機器導入補助事業

(1) 電気自動車等購入補助金

ア 事業概要

・EVやPHEVの導入に対して補助することで、ガソリン車から電気自動車等への転換を促す。

イ 申請状況 (8月16日現在)

- ・電気自動車 2件(日産・リーフ/サクラ)
- ・PHEV 2件(トヨタ・プリウス)
- ・家庭用充電器 1件

(2) 低炭素型創エネ・省エネ機器導入補助金

ア 事業概要

・個人宅への太陽光パネルや燃料電池設備など創エネ・省エネ設備の導入に対して補助をすることで、創エネ・省エネ設備の導入を促進する。

イ 申請状況 (8月16日現在)

- ・燃料電池 4件
- ・エネルギー管理システム (EMS)、定置用蓄電池の2点セット 3件
- ・太陽光発電設備、エネルギー管理システム (EMS)、定置用蓄電の3点セット 5件

クリーン推進係 所管事業の概要と進捗状況

1 ごみ減量化・リサイクル事業

(1) リデュース（発生抑制）

食品ロスについてHPでの周知とともに、小学4年生のごみ処理場見学に併せて給食など身近な題材を用いた説明を15校565名に行った。

(2) リユース（再利用）

市民がインターネットを活用したリユースに取り組む機会を設けるため、民間企業との連携を含めた検証を始めた。

(3) リサイクル（資源化）

町内ステーションや、松波、西本町のリサイクルセンター、佐藤池リサイクルセンターで回収した資源物を資源化業者に引渡した。

プラスチック製容器包装、ペットボトル、空きびんは、効率的に搬出するために資源物中間処理施設で減容化の中間処理を行っている。

2 塵芥処理（ごみ処理）

(1) 収集

市内全域から出される家庭の燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、資源物の収集を実施。戸別収集する粗大ごみの申込は電話で受け付けているが、市民の利便性向上のためLINEやアプリなどを活用するDX化の検討を始めた。

(2) 処理

ごみ処理場で燃やすごみを焼却、燃やさないごみ、粗大ごみは破碎処理を行っている。破碎したごみは、金属（鉄・アルミ）、可燃物、粗大残渣に分別し、金属はリサイクルする。

焼却灰、焼却残渣、粗大残渣は最終処分場の埋立ピットに埋立てる。埋立ピットの管理や浸出水の測定監視や処理など、環境基準を厳守するため管理を行っている。

3 し尿処理事業（生活排水）

(1) 収集

し尿は市の直営収集、浄化槽汚泥は浄化槽管理業者が搬入する。

(2) 処理

し尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥は、し尿処理場で生物処理と高度処理を行い、環境基準を遵守する処理水として河川に放流している。

4 施設の整備

(1) 既存廃棄物処理施設の整備

施設の機能を維持するため、プラント部の予防修繕としてオーバーホールを行う。ごみ処理場では年2回のうち、前期オーバーホールを6月25日から10月10日で実施中。

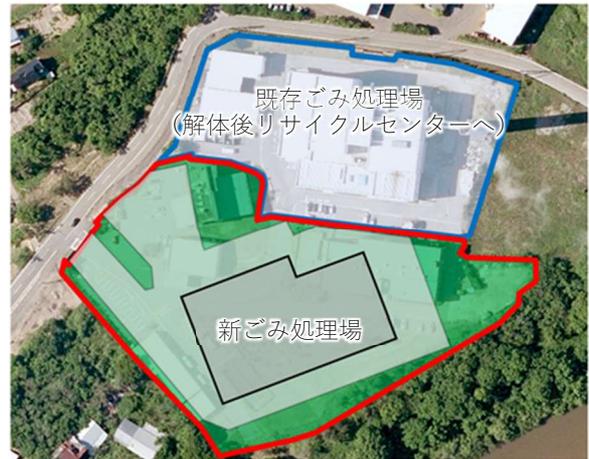
(2) 新ごみ処理場の建設

ア 事業概要

ごみ処理場の老朽化とごみ処理量の減少に対応するため、今後のごみ処理を見据えた施設規模や合理的・経済的な処理を実現する新ごみ処理場を建設する。

イ 進捗状況

- ・ 公募型プロポーザルにより新ごみ処理場の設計・建設・運営事業者の選定を開始。
- ・ 12月に最優秀提案者を決定し、令和11（2029）年度4月の供用開始に向け、令和7（2025）年度から建設工事を開始予定。



(3) 佐藤池資源物リサイクルセンターの建設

ア 事業概要

松波リサイクルセンターは新ごみ処理場の建設に伴う解体により一時的に閉鎖する。休止期間が6年以上となることから佐藤池運動広場第4駐車場に建設する。

松波リサイクルセンター、西本町リサイクルセンターとの相互の補完・すみ分けに適しており、恒久的施設として設置する。



イ 進捗状況

令和7（2025）年11月の開設を目指し、本年度は地質調査と施設の設計を行う。

(4) し尿受入施設の建設

ア 事業概要

老朽化したし尿処理場に代わり、し尿等を下水道処理するためし尿受入施設を自然環境浄化センター敷地内に整備する。

イ 進捗状況

令和5（2023）年度から2か年をかけて、下水道の付帯設備として建設工事を行っている。

5 能登半島地震で被災した家屋の公費解体

(1) 概要

令和6年能登半島地震によって損壊した被災家屋等について、二次災害の防止及び生活環境保全等を目的に、国が実施している災害等廃棄物処理事業費補助金制度（補助率1/2、特別交付税により97.5%の財源措置）を活用し、市が災害廃棄物として解体・撤去を実施する。

(2) 対象

個人又は中小企業法第2条第1項による中小企業が所有する家屋等（倉庫・蔵・事務所含む）のうち、り災証明書又は被災証明書において「全壊」「大規模半壊」「中規模半壊」「半壊」と判定されたもの

(3) 進捗状況

5月に開設した相談窓口を継続しつつ、7月1日から11月29日の期間で公費解体及び費用償還の申請受付を開始。

受付状況（8月20日現在）

	相談件数	申請件数
個人の家屋	14件	4件
中小企業が所有する家屋	2件	1件

環境保全係 所管事業の概要と進捗状況

1 公害対策事業

(1) 騒音、振動、悪臭、大気対策事業

ア 事業概要

- ・高速道路や国道沿いの地点で騒音・振動測定の継続的な測定監視を実施する。

イ 進捗状況

- ・環境騒音（13 地点）、高速道路沿線（10 地点）、自動車騒音常時監視（3 地点）で測定実施中

(2) 地盤沈下対策事業

ア 事業概要

- ・地盤沈下防止のため、新橋、元城町、東部公園（比角 2 丁目）、駅裏（幸町）の各観測所における地下水位変動を監視する。

イ 進捗状況

- ・4 カ所の観測地点で測定を実施中

(3) 水質監視対策事業

ア 事業概要

- ・海水浴場などの公共用水域の水質等を把握するため、市内 15 カ所でふん便性大腸菌群数や水質汚濁の状況など、水質検査を実施する。

イ 進捗状況

- ・海水浴場開設前 4 月 8、15 日、開設中 7 月 22、23 日に測定し、全ての海水浴場において海水浴に支障がない水質であることを確認

2 ごみ対策事業

(1) 海岸清掃費

ア 事業概要

- ・人力及びビーチクリーナーによる海岸漂着ごみの清掃を行い、海水浴シーズンに焦点を当てた海岸美化と環境保全を実施する。

イ 進捗状況

- ・人力による清掃を 4 月からビーチクリーナーによる清掃を 5 月から開始し、7 月末までに 119 t の海岸漂着ごみを回収した。

(2) 不法投棄防止対策費

ア 事業概要

- ・不法投棄防止の意識啓発及び回収を行い、自然環境の保全や生活環境の美化を図る。
また、旧米山牧場跡地に残置された廃タイヤを処理する。

イ 進捗状況

- ・看板設置などの不法投棄防止活動のほか、市民からの通報を受け7月末までに26件1,862kgの投機物を回収した。
- ・旧米山牧場跡地の廃タイヤは7月から搬出開始

3 その他所管施設

(1) 柏崎市斎場

- ・斎場の管理・運営及び火葬炉等の設備修繕を実施する。

(2) 柏崎市墓園

- ・柏崎市墓園の維持管理・修繕等を実施する。

鳥獣対策係 所管事業の概要と進捗状況

1 生活環境鳥獣対策事業

(1) 事業概要

・野生鳥獣から人身及び物損の被害防止を図るため、有害鳥獣の追い払いや捕獲、警戒パトロールを実施するとともに、生活環境獣害防護対策として電気柵などの資材購入に係る費用補助を実施する。第1種銃猟及びライフル銃免許の取得費用を補助し、有害鳥獣捕獲の担い手（有害鳥獣捕獲従事者）の確保を図る。また、近年、目撃件数が増加傾向にあり害獣被害に注意が必要なことから、市民に対して野生動物を寄せ付けないための環境整備対策や遭遇した場合の対処方法などの普及啓発を進めている。

(2) 進捗状況

ア 野生鳥獣目撃通報件数（年度別）

(件)

	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
クマ	19	12	7	15	7
イノシシ	274	42	42	60	60
ニホンザル	23	3	17	14	7
ニホンジカ	7	3	5	6	6
その他	14	9	9	11	3

※R6（2024）年度は、8月26日現在の件数

イ 有害鳥獣対策支援状況（年度別）

(ア) 担い手確保事業（銃猟免許取得支援件数）

(イ) 生活環境獣害防護対策事業（侵入防止柵設置支援件数）

(支援件数)

	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	計
担い手確保事業 (銃猟)	4	7	4	2	17
生活環境獣害防 護対策事業	-	3	2	1	6

※生活環境獣害防護対策事業（侵入防止柵設置支援件数）：市単独事業として、令和3（2021）年度創設

2 農業被害鳥獣対策事業

(1) 事業概要

- ・持続的な農業を目指すため、有害鳥獣捕獲対策、侵入防止柵（電気柵）の整備、担い手確保事業等を総合的に行い、野生鳥獣による農業被害防止を図る。

(2) 進捗状況

ア 侵入防止対策

- ・電気柵新規設置延長数（年度別）

(m)

年度	H21 (2009) ~ R2(2020)まで	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	計
延長 (m)	280,260	91,410	46,361	17,680	435,711

※総延長の内、二ホンジカを対象とした電気柵設置延長：770m

イ 有害鳥獣捕獲対策

- ・年度別有害鳥獣捕獲実績

(頭)

年 度	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
イノシシ	384	115	179	269
二ホンジカ	-	9	7	15

※市管理有害鳥獣捕獲及び新潟県指定管理鳥獣捕獲の合計頭数

ウ 担い手確保事業等（ワナ猟免許取得支援件数）

(件)

年 度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	計
担い手確保事業（ワナ）	8	0	1	9

※ 担い手確保事業（ワナ）：市単独事業として、令和3年度創設